

■竹中工務店・日本板硝子 90年1月3日 日本工業

ビル壁面用特殊ガラスを開発

竹中工務店は日本板硝子と共同で、スパッタリング法により、可視光線の透過率(34%)と反射率がともに高い特殊ガラスを開発、大阪ビジネスパーク(OBP)で建設中の超高層ビルの壁面に初めて実用化する。

■ホーヤ・ショット 90年1月9日 日経産業
光ファイバー新工場を建設

HOYAと西独ショットグラスヴェルケ社との折半出資会社、ホーヤ・ショットは前橋市に光ファイバー新工場を建設する。7月に完成の予定。新工場完成後はHOYA昭和工場から全面移転し、光ファイバー事業の本格的生産拠点として10月からの操業を目指す。

■北開試 90年1月10日 化工日報
ニューガラス開発が着実な成果

北海道工業開発試験所が進めているニューガラスおよびその複合材料開発が着実な成果をあげている。代表的な構造材料であるムライトに匹敵する高破壊靱性複合材料、クリーン環境下で使用される装置部材などに適した高純度ガラス繊維など多数の開発成果が具体化している。

■九工試 90年1月11日 日刊工業
微粒シラスバルーンを開発

九州工業技術試験所は、平均粒径が $12.5\mu\text{m}$ とこれまでに比べて格段に小さく、強度と白色度に優れたシラスバルーン(微細中空ガラス)の開発に成功した。天然のシラスを破碎後、酸溶液中の水

熱変成でガラス中の水分を増加させ、さらに表面層を生成させる前処理を行うことで微粒化を可能にした。

■都立工業技術センター 90年1月12日 日経産業

建材用結晶化ガラスを開発

都立工業技術センターは、高品質・低コストの新しい建材用結晶化ガラスを開発した。伊豆諸島・新島の火山岩「抗火石」を主原料としており、原料コストは以前からある類似商品の半分以上になるという。

■日本板硝子・サンゴバン 90年1月16日 日本経済

LCDP用導電ガラスを共同生産

日本板硝子は仏サンゴバンと提携、欧州で液晶ディスプレイ用導電ガラスの共同生産に乗り出す。折半出資で製造・販売の合弁会社を設立、バリ郊外に工場を建設し、日本板硝子の技術供与により91年春をメドに生産を始める。

■松崎真空 90年1月16日 化工日報
ITOスパッタリング膜新工場

松崎真空がITOスパッタリング膜能力を今春以降、月産3万数千 m^2 に拡大する。同社は、宮城県栗原郡で新工場の建設を進めていたが、昨年末に主要設備をほぼ完成、4月からの本格操業を目指して体制整備を急いでいる。

■伊藤忠・ガラステクノ 90年1月19日 日経産業

ガラス製メモリーディスクを開発

伊藤忠商事はガラステクノと共同で従来のハードディスクの数倍の記憶容量を持つガラス製のコンピュータ用メモリーディスクを開発した。高強度の結晶化ガラスを素材に、工程の簡単な表面処理技術を開発して実用化した。

■中部大 90年1月23日 日刊工業

超精密平面研削盤

中部大学工学部難波教授は、高剛性のトイシ軸とテーブルを持つ超精密平面研削盤を開発した。ガラス表面を光学研磨と同等もしくはそれ以上の鏡面に仕上げることができ、光学ガラスのBK7をワンパスで最大粗さ2.5nmに研削した。

■昭和電線 90年1月26日 日刊工業

光ファイバー生産体制強化

昭和電線電纜は90年度に光ファイバーの生産体制を強化する。具体的には、家庭を結ぶ加入者系の通信網が光ファイバー化されるのに備え、石英光ファイバーの生産能力を2倍に引き上げる。また、多成分ガラス光ファイバーはOA市場の開拓を本格化し、4倍の年2万kmの生産を目指す。

■東洋炭素 90年1月26日 化工日報

石英ルツボを輸入販売

東洋炭素は、昨年社内に設置した新規材料部を軸に半導体製造関連材の事業拡大に乗り出す。このほど米国GTE社から単結晶シリコンの製造に不可欠な溶融石英ルツボの輸入販売を始めたことを明らかにした。

■東レ 90年2月5日 日刊工業

ハードクラッド光ファイバー試験生産

東レは91年度にハードクラッドタイプの光ファイバーを国産化する。米国EBOC社から輸入販売しているが、日本市場に合せた品ぞろえを図る狙いから、今年秋に試験生産に乗り出し、91年度に本格量産を始める予定。

■ユニチカ 90年2月6日 化工日報

プリント配線基板用新ガラスクロス

ユニチカは低誘電率のプリント配線基板用ガラス

クロスを開発、積層板メーカーにサンプル出荷を開始した。シリカ成分がリッチで低誘電率の特性をもつガラス繊維を使って特殊な編機でクロスにしたもの。

■90年2月6日 日経産業

アモルファス合金の新用途

電力用の柱上トランスのケイ素鋼板製コアの中でエネルギーの一部が鉄損として無駄になる。ケイ素鋼板をアモルファス合金に置き換えれば、鉄損を三分の一から四分の一に減らせる。原油価格の動きによってはトランスの大市場が顕在化する。

■旭硝子 90年2月8日 日経産業

磁気ディスク用ガラス基板サンプル出荷

旭硝子は磁気ディスク用ガラス基板を3月から本格的にサンプル出荷する。子会社の旭コマグが米沢市で建設を進めていた量産試作プラントが完成するため、月産能力は5万枚、当面、月間1万枚サンプル出荷する。

■日本電気硝子 90年2月22日 日経産業

太陽電池カバーガラスの性能実証

日本電気硝子は、科学衛星の太陽電池を保護する材料として独自開発した宇宙用ガラスの性能が実用水準に達していることを実証した。文部省宇宙科学研究所の衛星に搭載して1年間の試験をした結果、紫外線の吸収力や断熱性に優れ、太陽電池の性能が落ちないことを確認できた。

■京大 90年2月28日 日経産業

音響光電子集積回路

京都大学工学部塩崎助教授らのグループは、超音波素子と電子素子、光回路を一つの半導体基板上に集積化した新型素子を世界で初めて開発した。シリコン基板上に作った光導波路を伝わる光信号を、一体化した超音波素子や光検出器(電子素子)で自由に制御、検出できるようにした。